



ヴァーチャルとリアル

校長 石岡秀久

三島硫黄島学園では、ICTを活用した授業が盛んに行われています。三島村内の他の学校と授業をしたり、島外にいる児童生徒に授業を提供したり、様々な活用がなされ、子供たちもタブレットの使い方に慣れ、文房具の一つと言っても過言でないように使いこなしています。先日の「鹿児島島地区研究協力校授業公開」では、生徒がタブレットを活用し、自ら課題を設定した授業を提供し、それらを配信した研究授業を実施しました。教育機器の発達や便利さを改めて感じることでした。コロナ禍の現在においては学校教育の必須アイテムといえます。私たちは、日常生活においてもスマートフォンやパソコン、情報機器を活用し、様々な情報を得ることが当たり前になっています。モニター上の人と会話をし、表情を見る、コメントや文書を受け渡す、時間短縮や経済的な効率化も図られる、本当に便利な世の中になってきました。

しかし、これらはヴァーチャルの世界であることを忘れてはいけません。きらびやかな背景は張りぼてのセットかもしれない、CGかもしれない、コメントした人は本人ではないかもしれない。膨大な情報を得られる中で、真実と虚実の取捨選択をする技能が必要になってきます。先進国といわれて久しい日本ですが、その過渡期に失ったモノや事柄も多くあります。私たちの住む硫黄島でもそのことは当てはまるかもしれません。夜の暗さや自然の雄大さはモニターでは分かりません。近隣の人とのふれあいや会話、助け合いなど失われてほしくないと思います。変わっていくことや変えてはいけないこと、変わらざるをえないこと、未来の子供たちへ私たちは何ができるのかを考えて日々過ごしたいと思うことでした。「いいとこいおう」硫黄島が大好きな児童生徒の育成に努めて参りますので、今後も御支援よろしくお願ひします。

令和5年になって凛々しい顔で学校に登校してきたみしまっことは、1月10日(火)希望の光が差し込む集会室で決意新たに3学期の始業式を迎えました。あと少しで令和5年度の新しい学年が始まります。一つ学年が上がる準備の学期、高等学校等の上級学校に進学していく9年生、後期課程に進級する6年生、新入生を迎える在校生、みんながこの3学期で準備をし、新たな学年に希望をもって進んでほしいです。



硫黄島カード配布中～3・4年生作成～

3・4年生が総合的な学習の時間に観光客向けの「硫黄島カード」を作成しました。観光に来られた方に紹介したい硫黄島のいいところをたくさん見つけ、自分たちで写真を撮ったり、デザインを考えたり、試行錯誤しながら素晴らしいカードを20種類作りました。観光案内所で一人一枚配布中です。20種類集めるには20回来るしかありません。今後、レアカードを企画中です。ぜひ、観光案内所にお越しください。



自分を守ろう～薬剤師講話～

1月18日(水)学校薬剤師の先生に来ていただき、たばこやお酒、危険ドラッグなどが人間の体にどのような影響を与えるのか、どのように自分の体を守っていくべきか、講話をしていただきました。甘い言葉に身を滅ぼしてしまった方の体験談などから、子供たちは社会に出てから、高校生になってから気を付けないといけないと強く感じていました。



日本文化を大切に～百人一首・かるた大会～

23・24日の二日間、児童生徒会の主催で大会が開かれました。1・2年生はかるた大会を。3年生以上は、大会までに一生懸命に和歌を覚えて当日を迎えました。さすがに後期生が勝ち上がりましたが、前期生も善戦し、楽しい大会となりました。美しい和歌のリズムに触れ合うよい機会となりました。



インスタ
フォロー
してね

MISHIMAKK01



みしまっこ
日記も
よろしく